

市議会だより

2023(令和5)年
11月10日発行

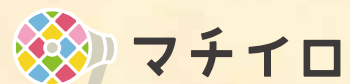
第79号



敬老会の子ども神楽

令和5年9月定例会終わる

- ▶ こんなことが決まりました 2
- ▶ 決算審査 4
- ▶ 委員会審査 5
- ▶ 市政を問う（一般質問） 6



マチイロ

「マチイロ」アプリでスマホからも
議会だよりをご覧いただけます。



iOS



Android

三次市議会

検索



が決まりました

9月定例会を9月1日(金)から10月2日(月)まで開催し、議案31件及び意見書4件を原案のとおり可決しました。

可決された条例

■三次市コミュニティセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**

■三次市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例 **全員一致**

■三次市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 **全員一致**

■三次市手数料徴収条例の一部を改正する条例 **全員一致**

その他の議案・報告

■三次市国民保護計画の変更について **全員一致**

■専決処分報告について(損害賠償の額を定めることについて・2件) **全員一致**

■工事請負契約の締結について(5件) **全員一致**

■人権擁護委員の候補者の推薦について(7件) **全員一致**

意見書

■独居者の弔いに関する制度の見直しを求める意見書 **賛成多数で可決**

■保育所保育施設の職員配置基準等の改善を求める意見書 **賛成多数で可決**

■少人数学級の実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書 **全員一致**

■核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書 **全員一致**

意見書等はこちら→



議案の内容はこちら→



9月定例会 審議結果 (全員一致以外のもの) ○…賛成 ×…反対

区分	会派	ともえ		清友会			明日への風			真正会			会派 未来		公明党	日本共産党										
		小田	新家	弓掛	藤井	月橋	穴戸	保実	山村	重信	山田	掛田	藤岡	徳岡	増田	杉原	齊木	鈴木	横光	竹原	大森	新田	黒木	中原	伊藤	
議案第8号 保育所保育施設の職員配置基準等の改善を求める意見書	可決 (賛成多数)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

●議案第8号に対して討論がありました 保育所保育施設の職員配置基準等の改善を求める意見書

賛成

保育環境の構築をすることによって、子どもたちの健やかな育ちを保障できると考えている。子どもたちを安心して育てていくことが国の責任であり、我々の責任でもある。現場の現状をしっかりと把握・分析し、保育士の配置基準を考えていくべきであると国に意見を伝えることは必要である。



竹原議員

反対

配置基準を変えれば人員確保ができるというものではない。より厳しい配置基準を満たそうとするためには、より効率的な保育をする必要性が増す可能性は大であり、三次市においても小規模の保育所の統合を進めなければ実現できないと考える。配置基準の見直しは、こういった全国状況や事業者等の聞き取りを実施し、慎重に判断する必要がある。



杉原議員

令和5年度 一般会計予算の補正(第3号)

補正額 10億1,199万1千円追加

総額 398億1,377万7千円

■ 主な使い道

・過年度国庫支出金等精算返納金	2億 155万 6千円
・道路橋梁維持管理（除雪対策）	1億 5,000万円
・現年災害公共土木復旧事業	1億 4,150万円
・道路橋梁維持管理（路面保全対策）	8,300万円
・水防対策事業	6,900万円
・基金積立	6,224万 5千円
・過年災害農業施設復旧事業	5,960万 7千円
・現年災害単独土木復旧事業	5,300万円
・小規模農業基盤整備事業	4,692万円
・指定管理施設電気料金負担軽減補助金	2,000万円
・後期高齢者医療経費	1,831万 5千円
・過年災害農地復旧事業	1,808万 3千円
・小規模農業用施設等改良事業補助金	1,320万円
・こどもの室内遊び場改修工事	993万 3千円
・林道整備事業	848万円
・農道整備事業負担金	800万円
・農産物生産供給体制強化事業(施設園芸エネルギー転換)補助金	577万円
・国民健康保険特別会計繰出金	544万 5千円

《繰越明許費》	2件	現年災害公共土木復旧事業ほか
《債務負担行為》	追加 2件	ケーブルテレビ光回線終端装置調達事業ほか
	変更 2件	排水ポンプ場長寿命化整備事業ほか
《地方債》	追加 1件	農道整備事業
	変更 9件	耕地事業ほか

特別会計9月補正予算	3会計
【国民健康保険特別会計】	544万 5千円
【介護保険特別会計】	1億 2,298万 6千円
【後期高齢者医療特別会計】	1,391万 7千円

企業会計9月補正予算	1会計
【病院事業会計】	
業務の予定量（施設整備事業）	4,158万円
収益的収入	6億 1,733万 9千円
収益的支出	5億 258万 7千円
資本的支出	4,158万円

補正予算の概要はこちら
9月補正予算をご覧ください→



令和5年度 一般会計予算の補正(第4号)

補正額 2億1,454万5千円追加

総額 400億2,832万2千円

■ 使い道

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	1億 7,252万 8千円
----------------------------	---------------

〈充当内訳（予定）〉

（単位：千円）

事業の名称	事業の概要	事業費
社会福祉施設等支援事業	電力・ガス等の価格高騰の影響を受けている社会福祉施設（高齢者支援施設・障害者支援施設）に対し、施設系、居住系、通所系、訪問系などの区分に応じた支援を行う。	50,090
保育施設等物価高騰対策支援事業	電力・ガス等の価格高騰の影響を受けている保育施設等に対し、入所児童数に応じた支援を行う。	1,650
エネルギー価格等高騰対策小規模事業者支援事業	電力・ガス等の価格高騰の影響を受けている市内小規模事業者に対し、法人、個人事業主に応じた支援を行う。	120,788

・君田健康ふれあい施設等管理経費	4,201万 7千円
〈内訳〉	
君田健康ふれあい施設(君田温泉)・君田林業総合センター（なごみ館）・君田自然資源等活用型交流促進施設(コテージ四季の家)	3,075万 3千円
はらみちを美術館	531万 6千円
君田地域農産物等活用型交流促進施設（森の食彩館）	302万 9千円
君田体験交流施設・君田化石博物館（折り紙博物館）	249万 8千円
君田林産物等展示販売施設（おはよう市、喫茶21番館）	42万 1千円

決算審査

令和4年度決算を認定

一般会計・特別会計など9会計を審査

【付託議案】

議案第84号「令和4年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」
ほか8議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり認定

予算決算常任委員長報告

決算認定に対する指摘及び意見

総務分科会からは、生活交通確保対策事業については、地域公共交通会議において、変化する地域の実態や2024年問題等社会情勢に即した施策について、今後一層、前向きな議論を進められることが重要である。縁つなぐ出会い創出事業については、結婚に對する考え方や性差、年齢等、多様性に配慮した取組が求められる。例えば、

「婚活」だけを目的とした事業ではなく、芸術線を活用した「縁つなぐ出会いの列車」等の企画とすることで、参加のハードルを下げることも、芸術線の利活用を併せた相乗効果が期待できるのではないかと。自治振興活動費補助事業については、地域の問題解決のために何ができるか、住民自治組織としての存在感を示すことが重要であり、地域の未来づくりアドバイス事業により明らかになった、人口減を踏まえた課題の解決策を市としてサポートして

いくことが求められるとの意見が報告された。

教育民生分科会からは、環境政策全般に係る事業については、廃食油回収体制の見直しなど、ごみ減量化に特に効果が高いと思われる事業に絞って実施していくことが必要である。市民への啓発は、どのような方法が最も効果的なのか常に検証が必要であり、市民の意識向上を図る取組として、出前講座等の説明会や子どもを対象にした環境学習の機会を増やし、引き続き、啓発を図る必要がある。学校施設整備事業については、教育現場に配慮した計画的な実施が望ましい。いきいき健康日本一のまち事業（生活習慣病予防事業）については、ヘルスアップ健康教室等の事業の充実を図り、健康づくり



予算決算常任委員長報告の様子

に對する市民の意識を高めることが特定検診受診率の向上につながるのではないかと。この意見が報告された。

産業建設分科会からは、ふるさと学生応援事業については、ふるさと納税を財源とするなどし、事業の継続を検討してほしい。新型コロナウイルス感染症対応事業のプレミアム付商品券発行事業補助については、本市の商業を元気にする事業であり、市民生活に必要な地元企業の事業継続に對する効果について検討が必要である。（仮称）みよしアグリパーク事業については、当初の構想から規模が縮小されており、今後の方向性をどのように考えているのか明確に示していただきたい。下水道事業については、一般会計からの繰出金に頼っている現状について、市として将来的にどのように考えているのか、明確な方針を示す時期にきている。との意見が報告された。

議案第98号「令和5年度三次市一般会計補正予算（第4号）（案）」については、本市の観光や地域経済、雇用への影響を最小限に抑えるため、君田温泉森の泉の早期再開に備えるべく、君田健康ふれあい施設等の管理には、細心の配慮をもって当たられたいとの意見があった。

● 各会計の決算状況

令和4年度の決算内容
についてはこちら→



(単位：円)

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		41,434,807,390	39,844,488,461	1,590,318,929
国民健康保険特別会計		5,066,530,589	5,042,702,419	23,828,170
診療所特別会計		275,313,775	263,368,257	11,945,518
介護保険特別会計		6,876,663,142	6,753,676,973	122,986,169
後期高齢者医療特別会計		863,691,246	849,772,970	13,918,276
土地取得特別会計		4,770,457	4,770,457	0
病院事業会計	収益的収支	10,015,520,306	9,847,139,258	168,381,048
	資本的収支	364,134,000	1,606,329,814	
水道事業会計	収益的収支	1,814,281,075	1,802,077,342	12,203,733
	資本的収支	471,867,000	1,119,513,057	
下水道事業会計	収益的収支	2,149,094,950	2,127,549,800	21,545,150
	資本的収支	1,270,332,900	1,826,429,578	

委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、9月8日～12日に各委員会を開催しました。

総務常任委員会

9月8日開催

【付託議案等】

議案第75号 「三次市コミュニティセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」ほか2議案

【審査結果】

議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第75号は、地域の実態に応じて施設を有効に活用することは理解できるものであるが、今後、コミュニティセンター等地域施設の運用を検討する場合は、各住民自治組織間の均衡も考慮して取り組んでいただきたい。

議案第80号 「工事請負契約の締結について(甲奴支所耐震改修工事)」は、施工に当たっては、交通安全対策の徹底に特に留意願いたい。

教育民生常任委員会

9月11日開催

【付託議案】

議案第76号 「三次市印鑑登録及び

証明に関する条例の一部を改正する条例(案)」ほか3議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決



執行部に質疑を行っている様子

産業建設常任委員会

9月12日開催

【付託議案】

議案第78号 「三次市手数料徴収条例の一部を改正する条例(案)」ほか1議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

各委員長報告の全文はこちら→



市政を問う

令和5年9月定例会 一般質問



伊藤 芳則
日本共産党

質問1 学校給食の無償化はできないのか

市内のすべての小中学校で給食が提供されることとなった。憲法第26条には「義務教育は無償とする」とあり、国は、自治体を取り組むことは妨げないとしてもしている。子育て世代への大きな支援になる給食費の無償化に取り組むべきではないか。

答弁1 国が示す方向性を注視していく

宮脇教育次長
近年、学校給食の無償化を独自で導入する自治体もあるが、そのためには新たな財政負担が必要となる。今後とも国が示す方向性を注視していくとともに、無償化にかかる財政支援についても引き続き国に要望していきたいと考えている。

質問2 市道整備を早急に取り組むべきではないか

市道四拾貫後山線の庄原市水越町への道路は通勤や通学に利用されているが、未整備のまま大変危険である。転落事故も発生しており、地元や庄原市からも要望書が出されている。早期に整備計画を策定し、工事に取りかかる必要があるのではないか。



未整備の市道の整備を早急に

答弁2 一定の評価基準に基づいて検討していく

加藤建設部長
道路整備の実施については、必要性や緊急性、費用対効果等において一定の評価基準に基づき、事業実施を検討していきたいと考えている。



弓掛 元
ともえ

質問1 君田温泉の再開を問う

(株)君田トエンティワンが経営難により解散を決議された。当面閉館となるが、観光面ばかりではなく、社会インフラとして必要と考える。新規募集を行い、温泉業務の早期再開はできないか。また、合併時に旧君田村から引き継がれた「健康ふれあい施設管理運営基金」の扱いを問う。

答弁1 今後、運営形態を検討していく

中廣産業振興部長
再開にあたっては、様々な利用形態・運用形態が考えられるため、今後、一定の募集要件等を検討していきたいと考えている。

答弁2 清算状況を見ながら活用を考えていく

福岡市長
基金については、同社の債務や資産の清算状況を見ながら、活用について検討していくようになると考えている。



10月1日で営業終了となった君田温泉 森の泉

質問2 高平山の用地活用を問う

消防署移転に伴い購入予定の、高平山敷地の消防施設としての利用は1割で、残り9割の利用を提案したい。森林を生かした林業の啓発、子どもたちへの木育の実施や消防関連の大規模訓練場、また展望台を復活し、十日市の元気づくりにつなげるなどはいかがが。

答弁2 安全な場所として活用してもらえよう努めていく

山田危機管理監
消防庁舎の移転整備後も広域避難所としての維持が前提となっているため、危険木の伐採等、必要最小限の整備を行い、避難のための駐車スペースを確保することをまず行いたいと考えている。



質問1
消防団の報酬改善はいつからか

県内の全23市町のうち7割弱にあたる15市町が、昨年4月から年額報酬を36,500円としている。庄原市も本年4月より14,000円から36,500円としている。本市は今16,000円だが、いつから処遇改善をされるのか伺う。

答弁1
引き続き検討・協議を進めていく

山田危機管理監
近年の多様化する消防団活動を将来にわたって維持していくことは、地域防災力の確保のためにも不可欠である。引き続き処遇改善に向けた検討・協議を進めていきたいと考えている。

答弁2
できるだけ早い時期に改正できるように努めていきたい

福岡市長
報酬や手当の改善について消防団と協

議をしながら、できるだけ早い時期に改正できるように努めていきたい。



令和5年度三次市消防団小型ポンプ操法競技会

質問2
君田温泉森の泉の運営は

君田温泉の知名度は高く、泉質や立地など、再生できる条件は整っている。全国には、旅館や温泉を再生してきた企業もたくさんあり、運営を魅力的に感じる企業もきつとある。君田温泉森の泉の売却や運営会社の全国公募は考えていないのか伺う。

答弁2
市としての方針を決定し、公募をしていく

中廣産業振興部長
今後の運営については、指定管理や貸与、売却などいろいろな形態が考えられる。専門家のアドバイスを受けながら、市としての方針を決定し、公募をしていきたいと考えている。



質問1
市立三次中央病院に「脳神経内科」の新設を

医師の確保が難しいという状況は理解できる。「パーキンソン病」を始め「神経筋疾患」の難病は、現在の医学では完治は望めず、早期発見と進行を遅らせる治療しかできないと伺っている。

大半の患者が広島市内の病院で診断され、通院されているのが実態である。市立三次中央病院建て替えに際し、備北医療圏の中核病院に相応しい「脳神経内科」の新設を強く提言したい。

平成30年に外来新設した「血液内科」と同様、週1〜2回非常勤医師に通っていたかどうかという選択肢もある。市長の見解を伺う。

答弁1
民間医療機能との分担も必要であると考える

福岡市長
広島大学病院の脳神経内科の教授との意見交換では、現在、大学病院から三次市内の民間の医療機関に医師の派遣が行われているという現状か

ら、民間の医療機関との機能の分担について検討していく必要があるということも協議している。
相対的に見ても脳神経内科の医師は診療科の中での構成比が非常に低い分野であり、医師の確保については現時点では極めて厳しい状況である。引き続き民間医療機能との分担も含め協議を進めていく。



現在の市立三次中央病院



自殺予防週間の啓発活動の様子

質問1
本市の自殺対策計画を問う

本市の自殺対策計画は策定から5年が経つが、成果や課題をどのように捉えているのか。また、国は昨年「自殺総合対策大綱」を閣議決定した。このことを踏まえて、今年度中に新たな自殺対策計画を策定すると聞くが、本市の計画の方向性を問う。



答弁1
様々な分野の関係機関との連携を
次期計画に盛り込んでいく

立花福祉保健部長
自殺対策は保健、医療、福祉、教育、労働などの関連施策との連携による生きることの包括支援として総合的に実施することが大切である。様々な分野の施策と関係する人々や組織の連携を、次期計画の方向性として盛り込みたいと考えている。

質問2
インターネットプロモーションは
必要だと思っが

市役所の全職員が三次の魅力を最大限に語れるようになるべきと考える。それがインターネットプロモーションの概念でもある。本市のシティブロモーション事業を推進するために、インターネットプロモーションは必要だと思っが、本市の考えを問う。

答弁2
発信していくことは必要である

桑田総務部長
シティブロモーションを推進するにあたり、旗振り役となる市役所、市職員全員が三次の魅力を様々な機会を捉えて語り、発信していくことは必要なことであると考えます。

質問1
子どもを取り巻く教育環境を問う

生きづらさや不登校の対策として、老朽化や時代に合っていない学校環境の整備を行っていく必要があると考える。保育所・小中学校のトイレの洋式化を含めたトイレ環境の整備（性的マイノリティへの配慮、指定避難所等）について、実施計画を作り、早急に時代に合った環境にするべきだと考えるが、本市の方針を問う。



答弁1
きめ細かな対応をしていく

宮脇教育次長
学校施設の老朽化対策とともに、学校や体育館の改築、大規模改修工事の際には、トイレの洋式化を基本として取り組んでいく。また、バリアフリーの観点から、必要に応じて多目的トイレを設置する等、いわゆる性的マイノリティの児童・生徒も使用できるよう、きめ細かな対応をしていきたいと考えている。



三次市内小中学校のトイレは
いまだ 58%が和式

質問2
難病者の社会参加への取組は

難病者が就労するにあたり、指定難病者や、それ以外の難病者への社会参加を促す本市の取組を問う。

答弁2
仕事内容とのマッチングを行う
等、支援している

立花福祉保健部長
就労の相談があった場合は、障害の重さなども考慮しながら、就労の内容により、三次市障害者支援センターや備北障害者就労・生活支援センター、ハローワークを紹介し、仕事内容とのマッチング等を行い、就労に向けた支援を行っている。



質問1
芸備線存続に向けての考えは

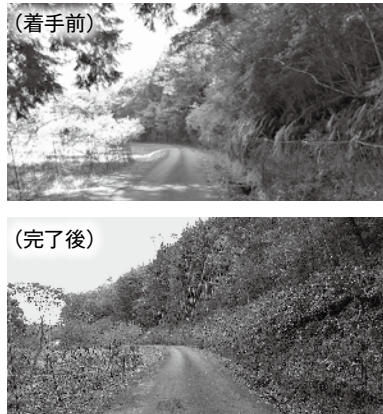
時速25kmの速度制限が多数ある状況は、鉄道としての機能を発揮していない。沿線自治体・住民が必要と考えるならば投資していくしかない。攻めの姿勢で国から交付金を確保していき、高速化など機能向上をしていくことは考えているのか。本市も当事者として覚悟を決め、率先して県や沿線自治体とともに様々な施策展開を急いでいく必要があるのではないかと。

答弁1
今後の動向を見据え進めていきたい

この地域にとって芸備線が必要なものであるという認識を市民全体で機運醸成していくことも重要であるが、三次市単独で決めることができないところもある。沿線4市、国、県としっかり歩調を合わせた協議、取組が必要不可欠であり、しっかりと今後の動向を見据え進めていきたいと考えている。

質問2
市道等の倒木対策の拡充を

本市では公共施設等周辺森林整備事業にて、公道などの公共施設周辺の森林整備をしている。市道の管理としての対策には限りがあり、森林そのものを手入れしていくことは重要である。来年度の森林環境譲与税の増額とともに、この事業を拡大・強化していく必要があるのではないかと。



公道沿いの森林整備

答弁2
森林環境譲与税の目的に沿った森林整備となる施策を検討していく

近年、自然災害が多発していることもあり、本事業は地域のニーズが高いものとなっている。来年度、増額が見込まれる中で、本事業の拡充を含め、災害防止による市民の安全・安心の確保等、森林環境譲与税の目的に沿った森林整備となる施策を検討していきたいと考えている。



質問1
各部署からの提案でふるさと納税活用を

ふるさと納税の活用率は36.3%だ。各部署から「ふるさと納税」活用の提案を求めて事業推進すれば、採用された担当部署は、やりがいを持って事業推進に取り組み、人材育成につながる。各部署提案について所見を伺う。

答弁1
各担当での事業に創意工夫をしてもらいたい

現在の三次市において必要な事業かどうか、しっかりと各部署の中で精査し、予算要求を行ったうえで、その事業の必要性を認めることができるようであれば、その財源としてふるさと納税を活用することも検討していくことはできると考えている。

質問2
国や他の自治体に先駆けて給食費無償化を

給食費は小学校と中学校に在籍していれば、多い月で12,210円の負担となる。2学期から全ての小・中学校で給食が始まった。保護者の負担軽減と教職員や給食事務担当職員の負担軽減のためにも、国や他の自治体に先駆けて給食費を無料にすべきと考えるが所見を伺う。

答弁2
安定的な財源を確保していく必要がある

給食費の無償化には持続可能な財政運営の観点から、安定的な財源を確保していく必要があると考えている。今後も、国の示す方向性を注視していくとともに、無償化に係る財政措置について引き続き要望していきたいと考えている。



議員が試食した給食センターの食事



東広島市 HP より

質問1
障害者支援の意識向上のため条例制定を



「三次市手話言語の普及及び障害の特性に応じた多様なコミュニケーション手段の利用促進に関する条例(案)」が撤回されて5年、他の自治体は積極的に条例を制定しているが、本市は内部協議もされておらず、市民の認知度は3割というアンケート結果も出ている。この結果をどう考えているのか。「障害者情報アクセスIBILITY・コミュニケーション保障法制定施策推進」が国から通知されている。本市の条例制定の取組は。

答弁1
ユニバーサルデザインの社会を引き続きめざしていく

福岡市長

「障害者情報アクセスIBILITY・コミュニケーション」施策推進法」が制定されたが、情報提供はもちろん、誰もが住みやすい環境を築くため、障害のある方や社会支援が必要な方も含めた事業を進めていきながら、ユニバーサルデザインの社会の実現を引き続きめざして、取組を一步一步進めていきたいと考えている。

質問2
抜本的な公共交通の在り方の見直しを

公共交通空白地域へ高齢者・障害者に優しい「ドアtoドア」の有償運送を導入できないか伺う。

答弁2
持続可能な公共交通を維持できるように取り組んでいく

福岡市長

公共交通の在り方は、本市においても大きな課題であると認識しており、地域の実態に合った公共交通の確立が求められていると考えている。他市の取組も参考にしながら、地域実態に合わせた交通モードを確保し、持続可能な公共交通を維持できるように引き続き取り組んでいきたいと考えている。

質問1
三次流帝王学で未来を拓くひとづくりを



三次には三次の課題がある。三次市の現状と課題、向かおうとする方向を共有し、共に解決してくれる人物や世の流れを生んでいく必要がある。全国共通の教育も大事だが、独自のカリキュラムを構築し、未来の三次を救うひとつづくりに着手すべきでは。

答弁1
共に「みよし結芽人」を育てていく

追田教育長

学校はもちろんであるが保護者、家庭、地域、行政すべてが、人づくりをどうしていくのか自分事として考え、お互いに意見交換しながら協働していく。そのことが本市のスローガンである「みよし結芽人(ゆめびと)」に込められている。「みよし結芽人」を育てていくことが、第一の使命であると考えている。

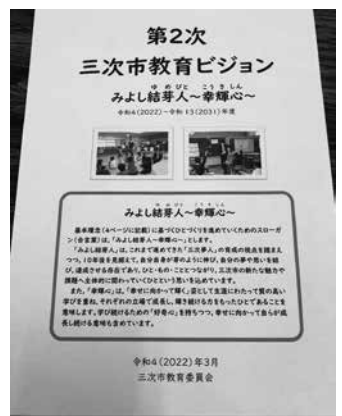
質問2
市職員OBの再就職を考え直しては

市職員が退職後、二セク等、市の関連団体へ再就職している例は多々あるが、超人口減少社会において、それぞれの団体や施設の経営はプロでなければ生き残れない時代だ。もうやめさせるべきであり、受け入れ団体にも指導すべきでは。

答弁2
各団体において適材適所で考えるべき

福岡市長

行政経験のある職員として組織の中で必要とされるのであれば、その人材は活用されるべきであり、適材適所であると考えている。引き続き、第三セクターに対して過剰に配慮するということがないよう、しっかりと気をつけていきたいと考えている。



第2次 三次市教育ビジョン



質問1
コミュニティスクールが始まるが

市内の各小学校では、これまでも発表会や運動会、米作りや食育等地域と共に子どもたちを育ててきた。

全中学校区を単位に、コミュニティスクールが始まる。地域と学校が協働して取り組んでいる事業は、ほぼ小学校区が単位である。子どもたちの関わりがより深いほど、コミュニティスクールが目指す教育についての協議ができるが、複数のそれぞれ特色のある小学校を中学校区でまとめるの協議は難しいと考える。教育委員会の見解を伺う。

答弁1
子ども一人一人がどんな力をつけていくべきか議論していく

コミュニティスクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことです。市内では6中学校区が設置している。子ども一人一人をどう育てることが必要なのか、どのような環境で育っていくべきなのか、よりよい



河内小学校オープンスクール

教育の在り方、人づくりを議論するのが主な役割、目的である。中学校区では無理ではないかということではなく、中学校区だからこそ地域、あるいは学校区もまたぎながら協議、情報共有することもできるといいう形で、小中一貫教育を基盤に進めてきている。



質問1
保育所ICT化事業の成果と課題は

この事業の導入により、保育所の事務負担の軽減や効率化が図られ、特に新型コロナウイルス感染症発生時には保育士の負担軽減につながったと聞いている。今年度は新たに4つの保育所へキッズビューを導入予定であるが、この事業の成果と課題を伺う。



スマートフォンを利用した
保育所ICT化事業(キッズビュー)

答弁1
ICTを活用した事務作業を定着させていく

出欠確認や保護者との連絡が簡単にできる環境を整えたことで、保育士の事務負担軽減、保護者サービスの向上につながっている。一方で、十分に活用できてい

松長子育て支援部長

ない分野もあるが、ICTを活用した事務作業が定着すれば、作業効率の向上や職員同士の情報共有の強化につながると考えている。

質問2
本市独自の少子化への対策は

今年度より「こども家庭庁」も発足し、異次元の少子化対策の必要性も示され、新たな制度等についても議論がスタートした。本市には不妊治療費助成事業等の補助制度はあるが、さらに他市にはない独自の少子化への対策を伺う。

答弁2
有効な施策について検討する

本市としては、今年度実施の「子どもの生活に関する実態調査」において現状分析を行い、有効な施策について検討するとともに、これまでの施策を安定的に継続することで、妊娠、出産、子育ての希望を応援し、子育てに優しい社会を目指していきたいと考えている。

松長子育て支援部長

※キッズビュー：保育所の先生と保護者をつなぐコミュニケーションアプリ



質問1
小規模校とまちづくりの関係は

少子高齢化などにより周辺地域の子どもが減っており、今年度、適正化の検討を始める小学校が6校あると聞いています。このような小規模校に対して統廃合しか考えていないのか。また、まちづくりや集落維持という面から考えると、教育機関の重要性が挙げられると思う。市は定住支援としてさまざまな施策を行っているが、小学校が無い地域に移住しようとする人はいないのではないのか。

答弁1
豊かな教育環境を保障していく

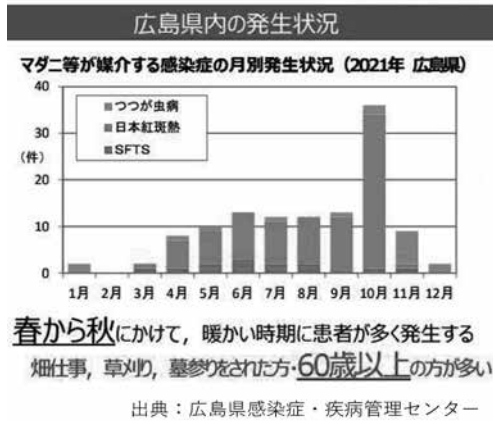
福岡市長

学校を取り巻く状況は大きく変化しており、子どもたち一人一人に豊かな教育環境を保障できているかどうかについては不断に問う必要がある。現在、市と教育委員会が連携して、教育大綱と教育振興基本計画を策定しているところである。専門家の意見や市民の皆さんの議論も踏まえて、次代を担う子どもたちの力を伸

ばすための教育環境を整えていきたい。

質問2
感染症と害獣対策の検討は

西日本を中心に患者が発生している「SFTF（重症熱性血小板減少症候群）」は、マダニが媒介するウイルスが原因で、シカやイノシシに吸着したマダニが原因である。何か対策が必要ではないか。



答弁2
駆除班と連携して取組を強化していきたい

中廣産業振興部長

イノシシ、シカ等の有害鳥獣の個体数の減少を図ることが、マダニによる感染症拡大防止につながるものであり、引き続き捕獲体制の充実を図るとともに、駆除班等と連携して取組を強化していきたいと考えている。



質問1
君田温泉運営会社解散からみる本市の第三セクターの考えは

君田温泉の運営会社「君田トエンティワン」の解散が決まった。第三セクターの優等生と言われたが、市として解散となった要因をどう捉え、行政としての関与、役割は果たせたのか。今後、温泉機能再開へ向けてどういう手順を進めるのか。

また総務省は「第三セクター等の経営健全化方針について」という通知を各地方公共団体に出し、指針策定を要請しているが、本市はこれを策定しているのか。本市においても第三セクターへのこれまでに以上の関与、指針策定が必要なものと考えているがどうか。

答弁1
収益性の改善等が進まなかった

中廣産業振興部長

コロナ禍前から売上高に対する固定費の割合が高く、収益性が低い状況が続いていた。市からは中小企業診断士を派遣し、経営状況の分析、課題の抽出等、経

営の改善策を提示したが、固定経費の削減や収益性の改善が進まなかったということが要因の一つと捉えている。

答弁2
幅広く判断し、検討していく

福岡市長

今後は売却、貸付、指定管理等、いろいろな要素をいろいろな方面から検討する必要があると考える。どうすれば君田温泉の泉を今後の資産として活用できるかが一番大切なところである。これから幅広く判断をしながら、そういった検討も引き続きしていきたいと考えている。

答弁3
基本的な方針等、研究していく必要がある

桑田総務部長

本市では損失補償をしている第三セクターがないため、現時点で指針は策定していないが、基本的な方針や今後の在り方の方向性については研究していく必要があると考える。



早期再開が望まれる君田温泉森の泉



水路側溝が機能していない状況

緊急的な道路保全作業においては、職員が対応している状況であるが、側溝清掃などの作業は重労働のため、今後は機械化できないものか。例えば小型重機を使うことで作業の効率化と体力面でのサポートにも繋がると思うが、市の考えを伺う。

質問1
路面保全作業の改善は



なかに 原 秀樹
公明党

答弁1
今後の課題として取り組んでいく

加藤建設部長
作業において重機を扱う場合は、免許等が必要である。有資格者を対象に募集することも考える必要があるが、現在の職員2名体制を堅持し、今後の課題として取り組んでいきたい。

質問2
水路側溝の管理を

本来、水路側溝内に揚水用のポリエチレン管を布設する施工では、堆積土が溜まりやすくなり、大雨の際には水路が氾濫し道路の路肩を侵食することも予想される。このような施工方法に問題はないのか。また、このような状態で放置していいのか。市の考えを伺う。

答弁2
対応については検討していく

加藤建設部長
道路側溝内に揚水管などを設置することとは、水路の排水断面を阻害するおそれがあるため問題があると考えますが、通水に必要な断面に余裕があると判断される場合は可能となることも考えられる。現場の状況を踏まえて判断していく。



くろき 黒 靖治
公明党

質問1
医療的ケア児・重度障がい児支援を問う

広島県医療的ケア児支援センターが開設された。自治体や学校、医療機関などと連携し、保護者からの様々な相談に対し、迅速な支援が行われる。市として支援センターとどのように連携されるのか伺う。

答弁1
連携して支援を行う

立花福祉保健部長
広島県医療的ケア児支援センターは、センターのスタッフが医療的ケア児とその家族、及び医療的ケアが必要な方と関わる支援者や行政担当者からサービス利用等の相談を受け、その内容に応じて各市町の相談窓口や関係機関等へ問い合わせ等がされるので、各市町では関係部署間で連携して支援をしていく。

質問2
小学校児童の登下校時の暑さ対策を問う

今年の夏、気温が30度を超える日が7月は20日、8月は28日あった。子ども達に登下校時の状況を聞くと、「暑くてしんどい。」と言い、中には約2.5kmを歩いて通学している子どももいる。小学生全員に「ランドセル用保冷剤付き背当てパッド」を配布できないか。

答弁2
熱中症対策ガイドラインに沿って対策を行っている

宮脇教育次長
登下校時の暑さ対策については、児童・生徒自らが体調管理を行うことができるよう、日傘やネック冷却、帽子の着用や水分補給、また体調不良時の適切な指導を繰り返し行っている。ランドセル用保冷パッドについても、今後の対策の参考とさせていただきます。



外した状態の製品



ランドセル用保冷剤付き背当てパッド装着時

教育民生常任委員会

大阪府寝屋川市・兵庫県三田市・東京都八王子市

7月19日（水）

寝屋川市役所（監察課）

- いじめ対策の取組について

7月20日（木）

三田市立母子小学校

- 小規模特認校制度の取組について

7月21日（金）

八王子市立高尾山学園

- 不登校の児童・生徒のための公立小中一貫校の取組について



いじめ対策の取組について説明を受ける（寝屋川市）

総務常任委員会

滋賀県草津市・奈良県宇陀市・愛知県瀬戸市

7月26日（水）

草津市役所（草津未来研究所）

- 草津未来研究所について

7月27日（木）

宇陀市役所（商工産業課・政策推進課）

- 宇陀市最先端デジタルプロジェクトについて

7月28日（金）

瀬戸市役所

（シティプロモーション課・ものづくり商業振興課）

- シティプロモーションについて



草津未来研究所の説明を受ける

視察レポート

市立三次中央病院建替等調査特別委員会

兵庫県川西市・大阪府和泉市

7月11日（火）

川西市立総合医療センター

- 全室個室の現状について

7月12日（水）

和泉市立総合医療センター

- 病院施設の概要
- 「平成30年度おおさか環境にやさしい建築賞」の評価
- 現在の運営状況全般について



川西市立総合医療センターを視察

産業建設常任委員会

新潟県三条市・長岡市

7月19日（水）

三条市役所（環境課）

- 「特命空き家仕事人」の取組について

7月20日（木）

長岡市役所（都市政策課）

- 家屋の行政代執行の取組について



担当課より説明を受ける（長岡市）

広報広聴常任委員会

滋賀県甲賀市・京都府京田辺市

8月2日（水）

甲賀市議会

- 議会だよりの編集について

8月3日（木）

京田辺市議会

- イベントへの市議会ブース出展について



ブース出展について意見交換（京田辺市）

議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会活動等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例会見を実施しました。

【発表事項】

1 令和5年9月定例会の総括

2 その他

(1) 令和5年度三次市議会「議員と話そう」について

(2) みよし商工まつりへの市議会ブース出展について



議会のうごき

2023(令和5)年
8月1日～10月31日

8月

- 1日 議会運営委員会、教育民生常任委員会
- 2日～3日 広報広聴常任委員会行政視察
- 8日～10日 議会運営委員会行政視察
- 17日 議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会、総務常任委員会
- 25日 全員協議会
- 30日 市議会トピックス（産業建設常任委員会）
- 31日 議会運営委員会

9月

- 1日 9月定例会本会議、予算決算常任委員会、広報広聴常任委員会
- 4日～6日 9月定例会本会議（一般質問）
- 7日 9月定例会本会議（一般質問）、3常任委員会（議案の調査研究）
- 8日 総務常任委員会、議会運営委員会
- 9日 教育民生常任委員会
- 12日 産業建設常任委員会
- 19日～28日 予算決算常任委員会
- 25日 議会運営委員会
- 27日 市議会トピックス（広報広聴常任委員会）
- 29日 全員協議会

10月

- 2日 議会運営委員会、9月定例会本会議、議会運営委員会
- 6日 広報広聴常任委員会
- 13日 議会運営委員会、総務常任委員会
- 16日 広報広聴常任委員会
- 20日 広報広聴常任委員会
- 22日 みよし商工まつりブース出展（広報広聴常任委員会）
- 24日 全員協議会、三次市議会議員研修会、会派代表者会議
- 25日 市議会トピックス（総務常任委員会）
- 26日 教育民生常任委員会
- 31日 広島県市議会議長会北部ブロック議員研修会

行政視察受入状況

- 8月1日 香川県丸亀市議会
（インターネット公有財産売却について）

議会運営委員会

岡山県真庭市・京都府福知山市・精華町・滋賀県大津市

8月8日（火）

真庭市議会

- 議会の政策立案機能強化について
- 議会、議員の評価検証について

8月9日（水）

福知山市議会

- 議会の政策立案機能強化について
- 議会、議員の評価検証について

8月10日（木）

精華町議会

- 議会の政策立案機能強化について
- 議会、議員の評価検証について

大津市議会

- 議会の政策立案機能強化について
- 議会、議員の評価検証について



真庭市議場にて



きりこちゃん
三次観光イメージキャラクター

次回の定例会は **12月1日(金)**に開会する予定です。

請願・陳情の提出は、11月17日(金)正午まで
陳情・請願 市政についての意見や要望を直接市議会に提出すること。
議員の紹介のあるものを請願と言います。

いいね
みよし

広報広聴常任委員が市内で撮影した、
お気に入りの1枚をご紹介します



全日本トライアル選手権
広島・三次灰塚大会



W杯直前イベント



モルック大会 (作木町)



夏祭り(作木町下作木下区)



WBSC
女子野球
ワールドカップ



稲刈り本験会(三和町大カ谷)



あとかき

今年度は、議会報告・懇談会を、三次市議会「議員と話そう」というタイトルに変更し、市民の皆様との対話を11月1日～28日まで19会場で開催させていただきます。

また、10月22日(日)に開催されました「みよし商工まつり」に議員ブースを出展し、議会クイズやシール投票などを行い、議員を身近に感じてもらおうという新しい取組をさせていただきました。少しずつではありますが、議会も時代に合わせ変化を進めております。

各種団体との出張型の意見交換会は随時行っておりますので、いつでもお気軽に声をお掛けください。

(月橋寿文)



注目スポット

作木「香淀の大銀杏」



作木町香淀の香淀迦具神社の大銀杏は、推定樹齢600年以上、県内第3位の巨樹です。ラッパ状の葉をつける全国でも数例しかない珍しい大木です。11月頃が紅葉の見頃で、境内も黄色のじゅうたんが敷き詰められ、市外からもたくさんの人が訪れます。

(新田真一)

ご意見やお問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110 Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp